

労働者安全衛生対策部会
【資料1-3】

福島第二原子力発電所における 労働環境改善の取組について

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所



現場から意見を吸い上げる仕組み

ルールの逸脱、人身災害および設備災害の未然防止を図ることを目的に、現場から意見を吸い上げる取り組みを実施しております。

パートナーシップ会議

当社と協力企業が継続的にコミュニケーションを重ねることで、ルールの逸脱を防止し、人身および設備災害の未然防止を図ることを目的

今回ご説明

現場の声窓口（Condition Report（CR））

2F構内の『危険の芽』・『異常兆候』を発見・報告し、より良い作業安全・作業品質に向け改善を行うことを目的

今回ご説明

相談窓口

企業倫理相談窓口 他

第2回でご説明した
内容と同様

□ 目的

当社と協力企業の皆様が継続的にコミュニケーションを重ねることで、ルールの逸脱、人身および設備災害の未然防止を図ることを目的に、福島第二原子力発電所で働く方々からの意見を吸い上げる仕組みを構築し、頂いた意見に対して迅速・誠実・確実に回答するため、本会議体を設置した。

□ ご意見の適用範囲

- ・作業現場・職場における環境改善
- ・設備改善
- ・マナー・モラル・ルールに対する指摘・気づき
- ・その他お褒め・感謝などの良好事例など

なお、当社社員からの意見および個人を特定した誹謗中傷は対象外。

□ 運営委員会の構成

- ・主査：副所長
- ・委員：所長付部長、総務部長、広報部長、セキュリティ管理部長、安全総括部長、放射線安全部長、施設運用部長、保全・工事部長
- ・委員：関電工、東芝エネルギーシステムズ、日立GEベルノバニュークリアエナジー、東京パワーテクノロジー、東京エネシス、福島原子力企業協議会（敬称略）
- ・交替委員：安全推進協議会に加盟する各社 ※3社ずつ四半期交代の輪番制
- ・事務局：所長付

□ ご意見の投書方法と回収頻度

- ・ふくに企業ネット、電子メールでの投書（都度対応）
- ・ご意見箱（週1回程度回収 無記名での投稿可）
- ・パートナーシップ会議内で頂いたご意見（月1回）

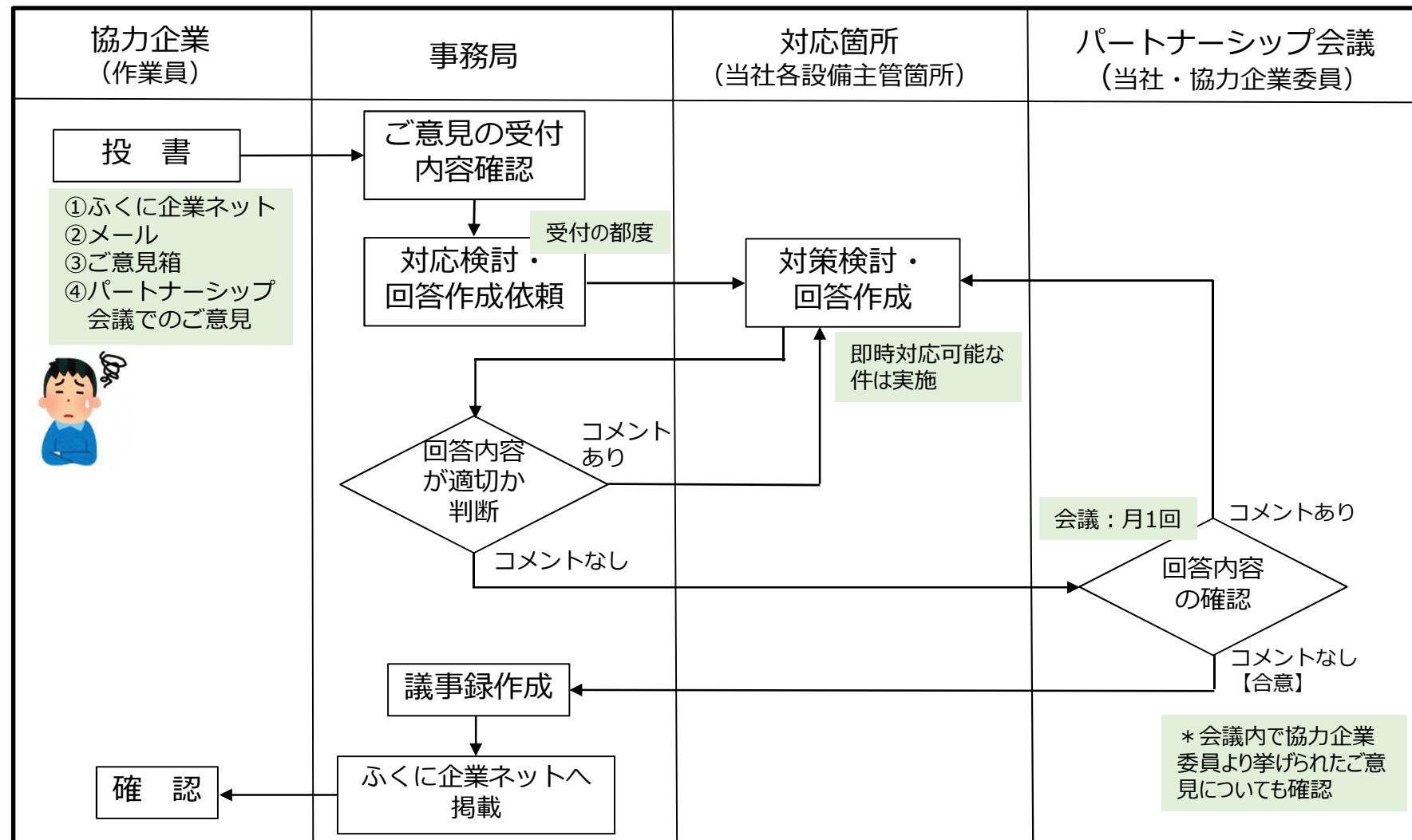
□ ご意見への回答について

パートナーシップ会議にて審議した結果をふくに企業ネットへ掲載



パートナーシップ会議の対応フロー

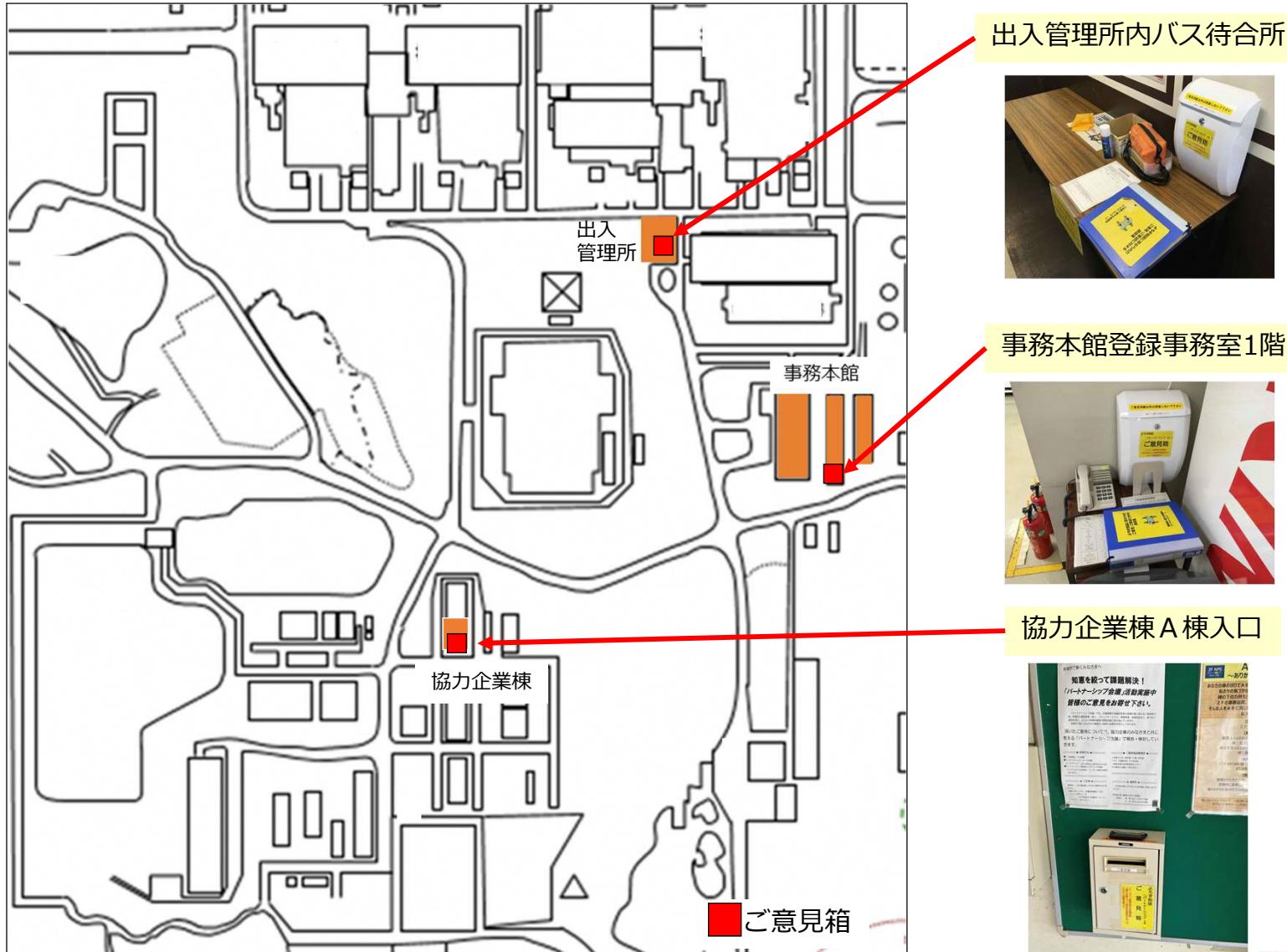
3



本活動は、社内手引きにより実施している。

TEPCO

【参考】ご意見箱設置場所

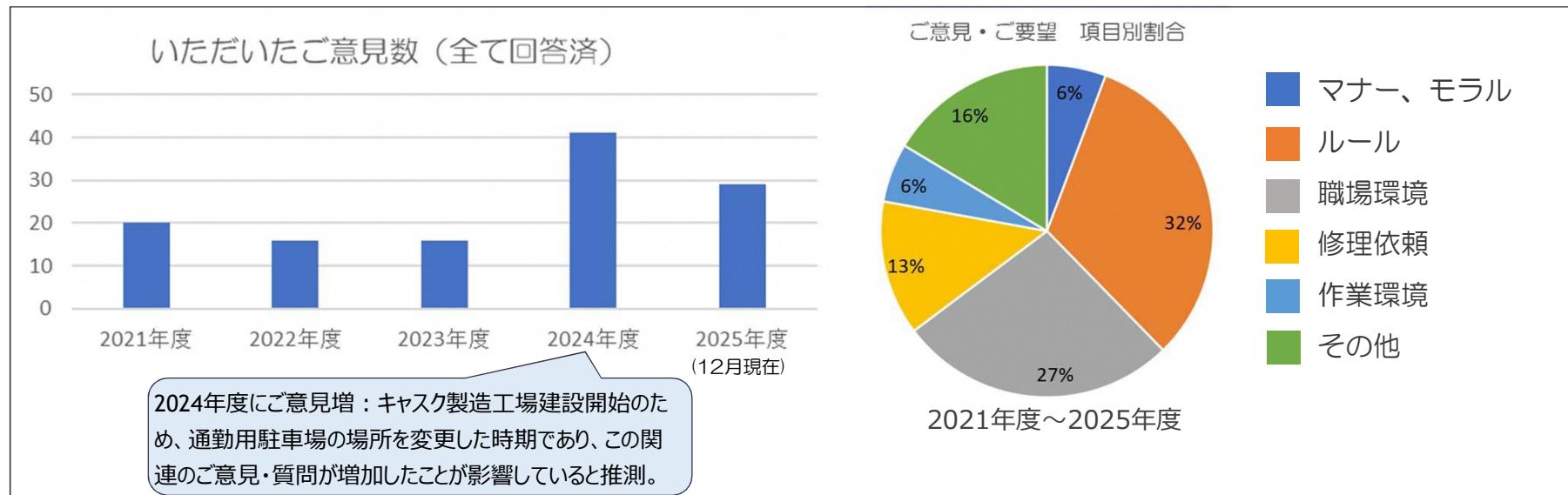


TEPCO

パートナーシップ会議 頂いたご意見

►頂いたご意見（代表例）

| 管理番号 | ご意見・ご要望 | 回答 |
|-----------|--|---|
| 2025-0020 | 旧厚生棟を解体した跡地の雑草が背丈以上に伸びており、交差点を右左折する際に車両が見えない状況のため、定期的な除草をしてほしい。 2025.9.4 メールにて頂いたご意見 | ご意見ありがとうございました。 2025年9月8日（月）直営ではありますが、当該箇所の除草作業を実施いたしました。 なお、付近に単管パイプの構造物があることから、十分な除草とは至っておりませんが、今後も定期的な除草による視界（安全）の確保に努めてまいります。 |
| 2025-0027 | ・管理区域のヘルメット置き場に氏名記載用のマジックがあるがインクが切れているものがある。赤が書けなかった。交換を要望します。 2025.10.29 事務局（所長付）にメールで頂いたご意見 | ご意見いただきありがとうございます。 全てのヘルメット置き場を確認して、インクが切れているものは全て交換をしました。 また、今後は定期的に（1回/月）確認します。 |

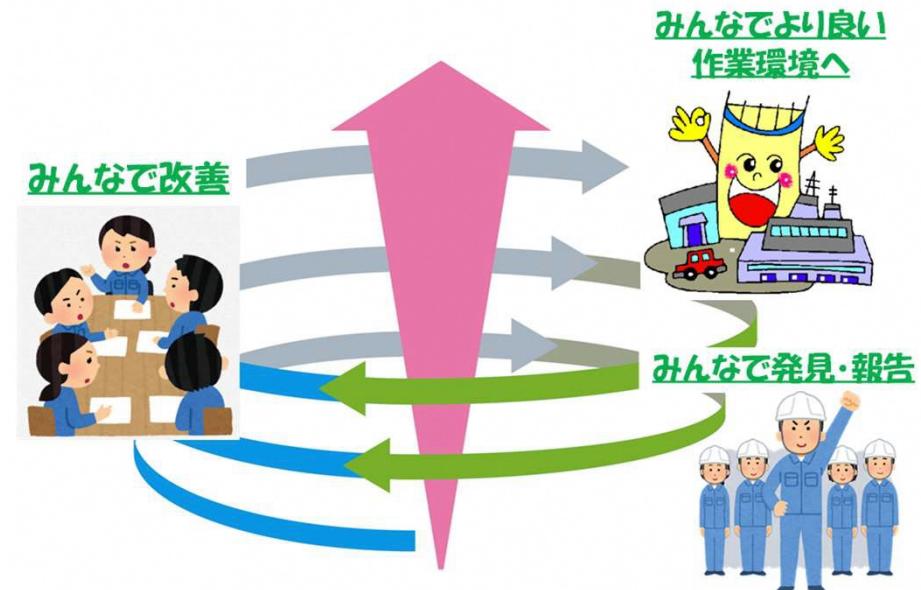


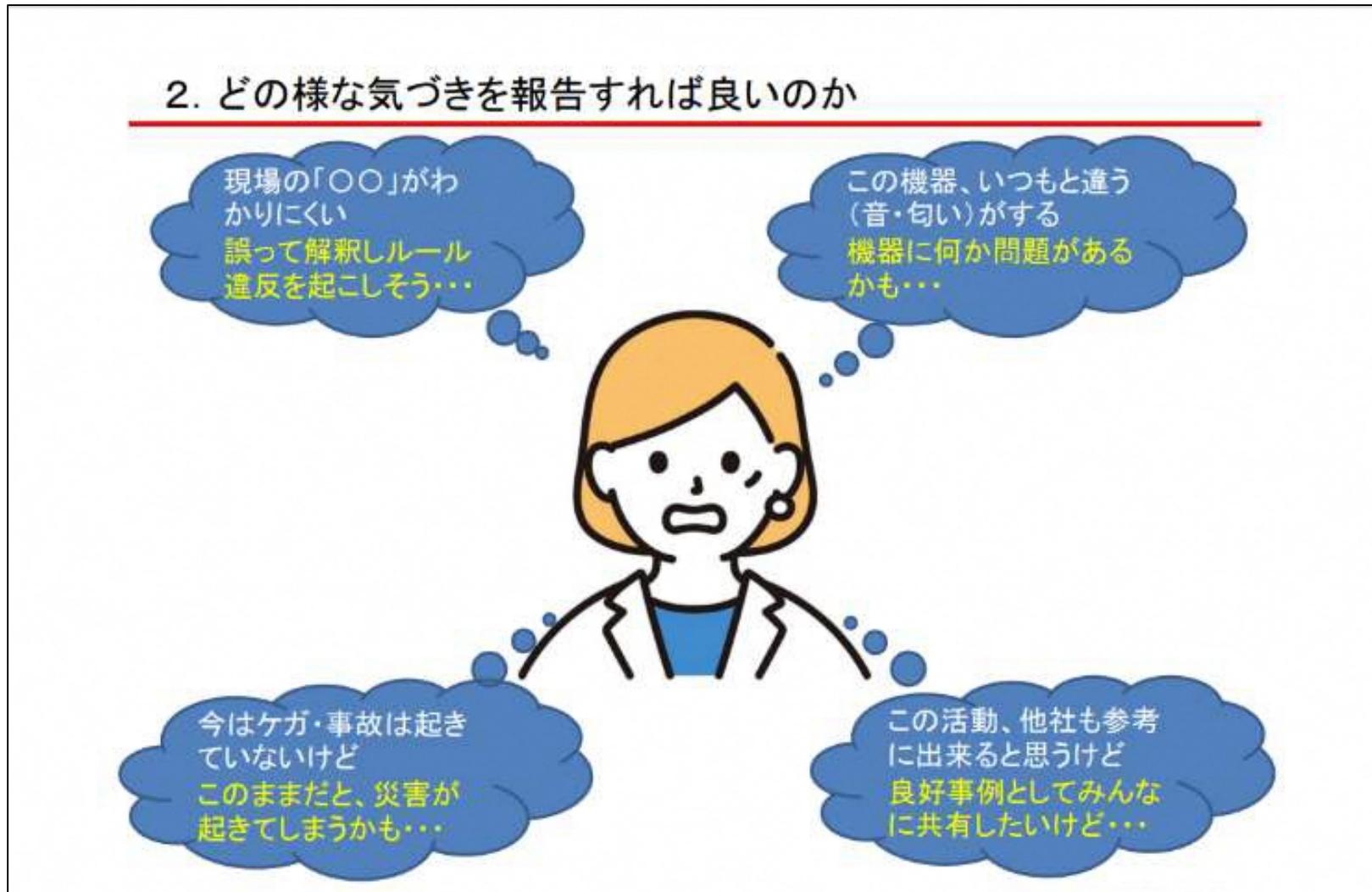
現場の声窓口（CR）

本活動(協力企業CR活動)は、発電所で働く皆が日々の現場作業を何事も無く、無事に終えご自宅へ帰ることが出来ること、トラブルや災害を発生させること無く作業を着実に進めるために、当社及び協力企業の方々が一丸となり、現場の『危険の芽』・『異常兆候』を発見・報告し、作業安全・品質向上に向け、継続的な改善を行うことを目的としている。

現場で発見した『危険の芽』・『異常兆候』について、状態報告(CR※)を提出してもらい、既存のは正措置プログラム制度の中で改善活動を行っていく。

※CR(Condition Report) … 発電所の安全・品質に影響を与えるような状態について、発見・気づきがあった際に報告を行う。その後、社内審議(パフォーマンス向上会議、PICoピア会議)で必要に応じて是正措置プログラムを実行し、改善を行う。





（協力企業各社への説明に使用した資料抜粋）

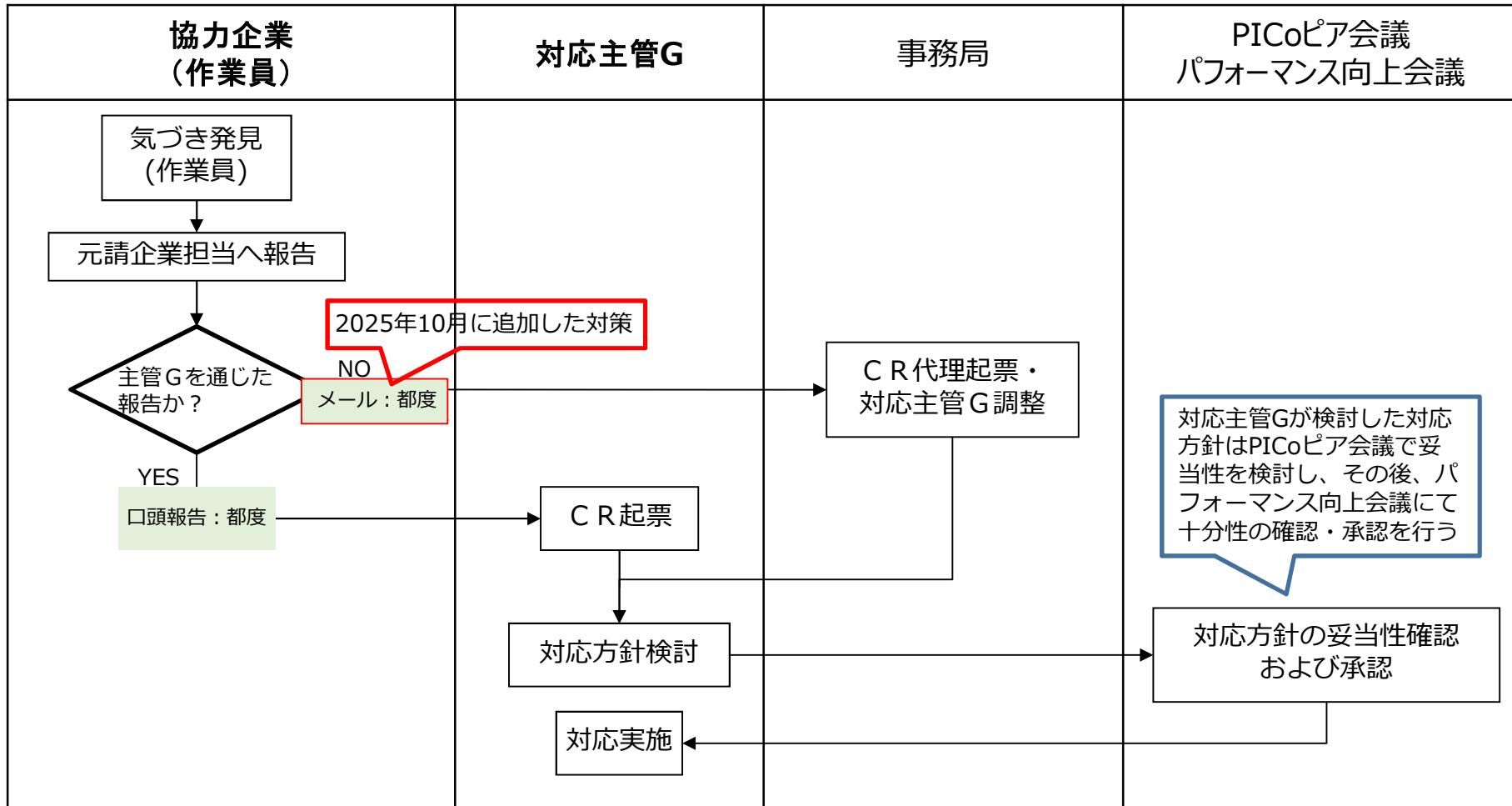
現場の声窓口（CR）会議体等について

- **協力企業CR運用事務局、是正処置プログラム運用事務局**
 - ①部署名：廃止措置安全センター・安全総括部・品質保証グループ
 - ②責任者：廃止措置安全センター・安全総括部・品質保証グループマネージャー
 - ③役割：メールで送付されたCRの代理起票、対応主管グループの調整、企業CR対応状況の確認・進捗状況の報告、および是正処置プログラムの運用を取り仕切る
- **是正処置プログラム**
 - ①目的：安全に影響を及ぼす可能性のある問題点を迅速に特定し、十分に評価された後、重要度に見合った対処と是正を行う活動
 - ②内容：CR起票後、PICOピア会議にて管理方針検討を行い、パフォーマンス向上会議にて同方針の承認後、対応主管グループにより対処や是正処置を実施する。
協力企業CRはこの仕組みを活用している。
- **PICOピア会議(PICO : パフォーマンス向上コーディネータ)**
 - ①目的・審査内容：原子力安全に影響する問題の重要性と、プラントの運転や設備保全活動に与える潜在的影響を考慮し、効果的かつ効率的に処理するため、CR情報の仕分け（不適合クラス等）を行い、パフォーマンス向上会議で議論すべき管理方針案を検討する。
 - ②構成員：発電所各部・各センターの専門性高い分野からの代表管理職
 - ③開催頻度：毎日(案件により休会もあり)
- **パフォーマンス向上会議**
 - ①目的・審査内容：原子力安全に対する問題について、不適合等の未然防止または再発防止を図るため、PICOピア会議で議論された管理方針について是正処置等の十分性の議論・指示を行う。
 - ②構成員：廃止措置安全センター所長（主査）、廃止措置主任者、RC、発電所各部・各センター管理職（委員）
 - ③開催頻度：毎日(案件により休会もあり)
- **今後の課題**

協力企業従業員から報告された不安全箇所や違和感について、現在は当該箇所への表示や、各企業代表者が出席する朝の会議で周知しているが、より早く広く協力企業従業員に周知する方策を検討していく。

現場の声窓口 (CR) CR起票から処理までの流れ

▶ 気づきの発見⇒CR起票⇒主管Gによる対応方針検討⇒PICOピア会議・パフォーマンス向上会議による方針確認
 ⇒主管Gによる対応
 という一連の流れは「是正処置プログラム」に則って実施する。

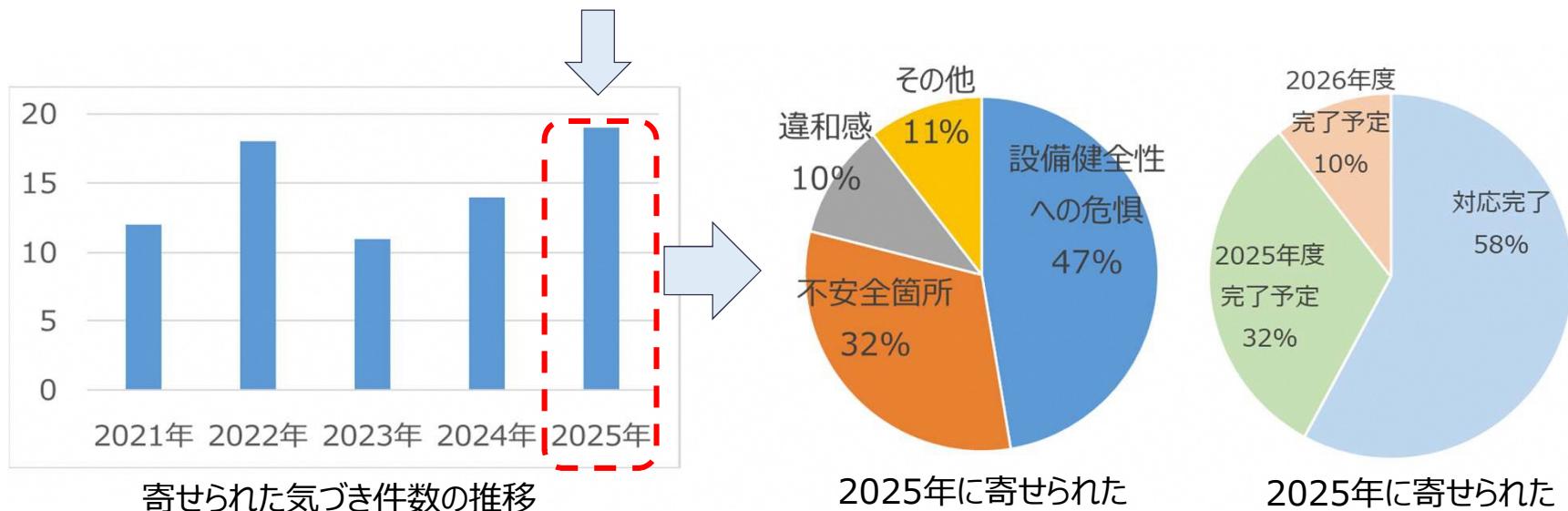


気づきを発見して頂いた方への回答については検討中。

現場の声窓口（CR）起票件数等

2025年の起票の状況について

- 2025年（1月～12月）の1年間に起票された企業CR件数は173件
- このうち、機器点検中に発見された不適合や次回の工事要望・推奨が154件、
労働環境改善につながる気づきが19件



事例

- 設備健全性への危惧：屋外歩道屋根の雨樋の破損、電柱支線への倒木
- 不安全箇所：構外進入路の陥没、構内道路の段差
- 違和感：盤の扉が開放状態
- その他：構内掘削作業中に発見した廃棄物

企業気づきで報告して頂いた事例

構外進入路歩道に陥没を発見した。
⇒ 転倒災害が発生するリスクがある。

【当社の対応状況】

一時処置として仮埋戻しやカラーコーンによる注意喚起を実施したのち、本復旧を実施した。



3. 気づき事項をどのように報告すれば良いのか



現在、現場の気づきは、主管グループの工事管理員へご報告頂いておりますが、今後は皆さんのパソコンからも、直接メールで気づき事項の報告が出来るようになります。

(協力企業各社への説明に使用した資料抜粋)